

# ナンバ 微量のガス漏れを検知 「フロンキーパー」に関係者ら注目



難波 昇一社長

冷凍・空調設備などの設計施工を手掛けるナンバ(社長=難波昇一氏)が本社・新潟県長岡市からスパーマーケットロードショーに出展したフロンガス漏えい検知システム「フロンキーパー」がエンドユーザーから関心を集めた。中でもスパー経営者や設備担当者が興味を示したという。「(会期中)ガス漏れで困っていたという声を多く頂いた」と、製品説明にあたった営業部の水沢雅夫取締役営業部長。

フロンガスの漏えいは冷凍機の機能低下を引き起こす。これに伴う販売機会喪失や在庫ロス、フロンガスの補充やコンプレッサの修理費用などで経費が高んできた実情がその背景にある。

「フロンキーパー」は、検知器と警報装置を備えた制御盤で構成。検知器は冷媒配管にパイプ上でフロンガスの通り道をつくり、液状の冷媒フロン液面の高さを測定するもの。初期充填時の状態から2%の変化を検知することができ、漏えいを検知した時点でサービス担当者へ警報が送られる。

微量の漏えいを早期に発見することができたため、冷凍機の故障を未然に防ぎ、商品を傷めることなく対処できる。フロンガスの漏えいを早期に発見するこのシステムは同社が独自開発したもので特許申請中。

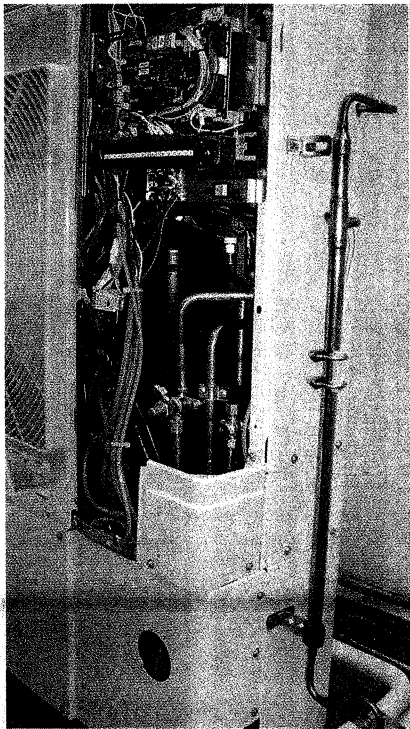
1台の制御盤で最大32台の冷凍機に対応する。制御盤の価格は63万円(税別)。

「フロンキーパー」は、今展示会の出展を機に本格投入を予定しているが、既に新潟の下越・中越地区に店舗展開するスパー・ウオロクの3店舗が先行導入しているほか、ナンバがメンテナンス契約を結ぶ10数店舗でも導入を計画している。

同社は従来からフロンガス漏えい防止の取組に注力してきた。「10年保証」はその代表例。パッケーツ型エアコンやルームエアコン、業務用冷凍庫、冷蔵庫、オーブンシヨーカー、特殊冷却設備などを対象に、圧縮機故障や冷媒ガス漏れについて10年間全額保証(無料)するというもので、09年にオゾン層保護・地球温暖化防止大賞(日刊工業新聞社)、10年に優良省エネルギー設備顕彰(日設連)を受賞しており、業界内での評価も高い。

「フロンキーパー」はその取組をさらに高度化させたもの。展示会場に設置された実機には、エンドユーザーのみならず、機器メーカーや店舗冷設工事業者など業界関係者が連日足を運んだ。

産業構造審議会の報告によると、別置型シヨーカーからのフロン漏えい率は約16%。フロンガスの漏えいを最小限に留め、早急に対処することができれば、使用時のフロン漏えい率を大きく削減することができる。



SMTSで実演した「フロンキーパー」(アキュムレーターの液面をセンサー検知)